

(株)地主クリニカルサポート

在宅介護支援センター デイサービスたまゆら 【地域密着型通所介護】

運営推進会議開催 報告書

開催日時	
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文書開催（令和2年9月開催分）	
参加者	
利用者様	1名
利用者家族様	1名
地域住民代表 民生委員(原地区)	1名
地域ボランティア	1名
地域包括支援センター	1名
知見者 主任介護支援専門員	1名
職員	1名（管理者）
会議次第	
(1) 事業所の紹介 (2) 事業所の新型コロナウイルス感染症対策の報告 (3) 事業所の活動状況について	
会議録	
<p>○ 事業所の概要の報告 職員体制・利用者様登録状況・介護度内訳・年齢内訳・平均利用者数</p> <p>○ 事業所の新型コロナウイルス感染症対策の報告 利用者様と職員の事前検温確認とマスク着用・手指や私用物品の消毒(適宜)・利用者様への定期的な石けんによる手洗い介助の実施など</p> <p>○ 活動状況の報告 7月…消防訓練 8月…夏祭り 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、行事の削減を報告した</p> <p>書面での会議のため、補足として事業所の特徴をまとめた資料を添付 一日のプログラム内容・外部の療法士と連携した機能訓練の実施・認知症ケア・入浴状況等</p>	

○ 意見交換・質疑応答

利用者様…みんな良い人で楽しく通えている。コロナで今までのような内容ではないが、プログラムは飽きがなく楽しめている。

コロナ対策に協力しなければと自分自身も事前の検温を頑張っている。

家族様…母一人に対する感染症対策でも大変なのに、毎日利用者全員に対して感染症対策のために声かけや介助は大変だと思う。制約が多い時ではあるが、いろいろな方とコミュニケーションが図れて楽しい活動を提供して頂けたらありがたい。

民生委員…職員が職種の兼務が多く、大変だと感じた。

利用者にコロナ対策に協力してもらう工夫を図っていることが分かった。

コロナ禍で何を提供するか考えるのも一苦労だが、利用者は良い表情をされており、楽しまれているのだろうと思った。

ボランティア…コロナ対策については利用者や家族の皆さんも安心されていると思う反面、職員の業務が増えて大変だと思う。

手芸の様子をみていると現役時代の器用さを発揮されており、一針一針指を動かすことで利用者が明るくなっている。

直接介助の入浴は大変良いことだが、職員の負担が心配。腰を痛めて介護の仕事を離れる人が多い時代なので。機械浴の導入も検討しても良いのではと思う。

地域包括支援センター…コロナ禍での営業に対して、感染対策に頑張っており、介護度が高い方も多い中で工夫していると感じた。

主任介護支援専門員…要介護1・2の方が多いが年齢は平均的。

個人のマスク入力は裏と表間違えないか、心配になった。

コロナ禍での行事は大変だが、工夫して楽しんでもらっていると思う。

その他意見

・利用自粛の方もおられたので、早く元通りに戻ってほしいと思った。

・利用定員15名で1日の平均利用は9名は事業所にとってはどうか分からないけど、利用者はよろこんでおられると感じる。

・たまゆらでは歌は今まで通り歌っているのか？

→以前はほぼ毎日歌唱の時間を設けていたが、コロナ対策で積極的には行っていない。

ただ重度の認知症の方の利用が多いこともあり、歌唱で心が落ち着く方もおられるので時々行っている。

○ 次回の開催は令和3年3月の予定